

日本 中国 韓国の文明の差

週刊文春
06年4月11日 P176-17
中西輝政京大教授

小泉首相は「よく話し合って円満に解決」ということを強調したが、我々は中国、韓国を「話し合いで理解しあえる相手」と考えるは、もうやめたほうがいい。

中国、韓国と日本は対極的と言ってよいほど異なる文明に属している。

「文明の生態史観」(梅原忠夫)にもあるように、
中国、ロシア、インドと言った大陸性の文明と
欧米や日本と言った海洋性の文明には相容れないものがある。

それは 中国の「ふっかける」文化 と日本の「正札」の文化 と言い換えてもよい。

どの旅行ガイドを見ても、中国やインドで買い物をするとき、言い値が 100ドルなら、こちらは10ドルから値切っていけばよい、などと書いてある。

大陸性の文明はすべてが交渉次第なのである。
正義についても同じで、
我々は正義とは事実に基づいた唯一のものと考えてるが、
相手は交渉次第でどうにでもなると考えている。

韓国はそんな大陸性文明の極地である中華思想の縁辺にあって、
属国として虐げられた歴史を歩んできた。

悲惨な韓民族の心を支えてきたのが「中華文明に属さない日本のほうが野蛮だ」という差別感です。

それを理解せず、隣国で似たような顔をして似た様な言語を話すからと、
無意識に価値観を共有できると考えるのは大間違いだ。